

2015年度 明海大学大学院応用言語学会・総会・修了生研究発表会

日時： 2016年（平成28年） 3月5日（土） 9：40（受付開始）

場所： 明海大学 浦安キャンパス 明海大学講義棟
ノースウィング4階（2402・2432・2433）

日程	時間
1. 開会の辞と日程説明（2402）	10：10-10：15
2. 遊佐昇研究科長の挨拶（2402）	10：15-10：25
3. 特別講演（2402） 「新井白石の勉強方法と就職活動から学ぶこと」 市川桃子 先生	10：30-12：00
4. 修了生による研究発表（2432・2433） （博士課程前期13名、博士課程後期0名）	13：00-17：00
5. 総会（2402）	17：10-17：20
6. 閉会の辞（2402）	17：20-17：25
7. 懇親会・同窓会（ニューマリズ）	18：00-20：00 （17：40 受付 開始）

〈懇親会・同窓会〉

1. 開会の辞
2. 来賓の先生方紹介
3. 遊佐昇研究科長の挨拶
4. 同窓会代表の挨拶
5. 乾杯の御発声
6. 食事、歓談
7. 閉会の辞

第1会場：2432講義室

<発表20分・質疑応答10分、計30分（移動・休憩5分）>

1 13:00~13:30	魏 敏	「断り」表現の使用と在日経験の影響 —ポライトネス・ストラテジーに焦点を当てて—	主査	柳澤 好昭
			副査	佐々木 文彦 木山 三佳
2 13:35~14:05	王 笑語	在日中国人学習者のリスニングにおけるシャドーイングの効果の実験研究	主査	柳澤 好昭
			副査	高田 智子 木山 三佳
3 14:10~14:40	姚 玲	中国人日本語上級学習者のテキストの習得に関する研究	主査	柳澤 好昭
			副査	佐々木 文彦 劉 勳寧
4 14:45~15:15	伍 一葦	学習者の個人的要因と読解力に関する調査研究 —言語学習適性と読解ストラテジーに焦点を当てて—	主査	柳澤 好昭
			副査	大津 由紀雄 木山 三佳
5 15:20~15:50	陸 超	男性一人称「ぼく」に関する研究 —中国人日本語学習者のために—	主査	柳澤 好昭
			副査	中川 仁 木山 三佳
6 15:55~16:25	範 弘宇	間接的要求表現の使用に関わる要因についての一考察 —ポライトネス理論三要素に基づいて—	主査	柳澤 好昭
			副査	木山 三佳 嶋田 珠巳

第2会場：2433講義室

<発表20分・質疑応答10分、計30分（移動・休憩5分）>

1 13:00~13:30	包 格根	日本語の助詞の「の」とモンゴル語の属格の「 ϵ /-u」の対照研究 —NP1+の+NP2とNP1+ ϵ /-u+NP2の比較—	主査	大津 由紀雄
			副査	嶋田 珠巳 瀧田 健介
2 13:35~14:05	王 昕	断り表現における日中対照研究 —ポライトネス・ストラテジーと意味公式の観点から—	主査	佐々木 文彦
			副査	柳澤 好昭 劉 勳寧
3 14:10~14:40	鈴木 歩美	オノマトペの言語音と感覚の関連性についての研究 —痛みや不快感を表す語を中心に—	主査	佐々木 文彦
			副査	片桐 史尚 柳澤 好昭
4 14:45~15:15	チョウ テイテイ	中国の流行語における“X二代”表現の発生と展開について —“富二代”を中心に—	主査	河村 昌子
			副査	佐々木 文彦 劉 勳寧
5 15:20~15:50	宋 金ファン	帰国子女及び外国人児童・生徒に対する日本語教育コーディネータの活動に関する研究	主査	岩下 哲典
			副査	佐々木 文彦 河村 昌子
6 15:55~16:25	林 洋子	「メディアを通してのコミュニケーションの“形”の変化」 —「自分対他人」から「自分対自分」へ—	主査	佐々木 文彦
			副査	大津 由紀雄 津留崎 毅
7 16:30~17:00	董 雪	メディアにおけるカタカナ表記の研究 —非標準的表記法を中心に—	主査	佐々木 文彦
			副査	中川 仁 柳澤 好昭